

科目名	サービスマネジメント Service Management		選択	2 単位
学期・曜日・時限	春・金・4 限	春・金・5 限	-	-
担当教員名	赤堀 浩一郎	e-mail		
講義形式	ハイフレックス（教員は原則学外から講義を実施するが、2 回程度、講義室から実施する場合がある。）※対面履修生は全回講義室から参加			
<p><講義の概要と目的></p> <p>現在、日本では新たな成長のシナリオとして、観光や情報通信、医療・介護を中心としたサービス産業の強化が強く求められている。また、製造業を含めた他産業においても新たな付加価値としてサービスの強化が不可欠となっており、全産業においてサービスの重要性が高まっていると言える。一方、とりわけ日本においてはサービスを精神的に取り扱うことが多く、体系的な理解に乏しい。この授業では、具体的な数多くの事例を紹介しながら、サービスマネジメントを枠組みとして理解することも目的とする。また AI 等の新たな技術導入に伴うサービスモデルの変化についても考察していく。さらに期末には新サービス事業企画を作成・発表する場を設け、自ら主体的にサービスを作り出す力を養成する。</p> <p><到達目標></p> <p>サービスマネジメントを枠組みとして理解することを到達目標とするが、さらに努力目標として自らが新たなサービス事業を創りだし、最適なマネジメントを実践する力を養うことを目指す。</p> <p><アクティブ・ラーニング要素></p> <p>各パートで実施する「事例研究発表」および期末の各院生の「新サービス企画プレゼン」を行う。</p> <p><講義計画></p> <p>1 回目： イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：サービスマネジメントとは？ <p>2 回目： サービスを取り巻く現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：日本のサービス産業の現状と課題とは？ <p>3 回目： サービスマネジメント概要①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：サービスの特徴とは？ <p>4 回目： サービスマネジメント概要②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：サービスマネジメントシステムとは？ <p>5 回目： 事例研究発表（サービスマネジメント概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：3 週、4 週の講義に関連した企業の取り組み事例についての院生発表 <p>6 回目： 人材組織マネジメント①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：サービスにおける現場主義の重要性とは？ <p>7 回目： 人材組織マネジメント②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：サービスにおける従業員満足向上の重要性とは？ <p>8 回目： 事例研究発表（人材マネジメント）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：6 週、7 週の講義に関連した企業の取り組み事例についての院生発表 <p>9 回目： サービスマーケティング①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：サービスマーケティングの特徴とは？ 				

10 回目：サービスマーケティング②

・要点：サービスマネジメントにおける顧客戦略とは？

11 回目：事例研究発表（サービスマーケティング）

・要点：9週、10週の講義に関連した企業の取り組み事例についての院生発表

12 回目：院生プレゼンテーション（新サービス事業企画）

・要点：院生による新サービス事業企画の発表およびディスカッション

13 回目：院生プレゼンテーション（新サービス事業企画）

・要点 院生による新サービス事業企画の発表およびディスカッション

14 回目：院生プレゼンテーション（新サービス事業企画）

・要点：院生による新サービス事業企画の発表およびディスカッション

15 回目：院生プレゼンテーション（新サービス事業企画）

・要点：院生による新サービス事業企画の発表およびディスカッション

<講義の進め方>

前半は講義形式で行い、随時、質疑やディスカッションを取り入れて行く。併せて、各テーマの理解を深めるために、院生による事例研究発表を行う。後半の院生プレゼンテーションは、講義で学んだ知識や情報をベースに各人が独自のサービス事業企画案をプレゼンテーションする。

<事前事後学修内容>

講義資料は事前にダウンロードして通読しておくこと。

<予習・復習時間>

期末プレゼンテーションに備えて、5月中に指定教科書を各自で通読しておくこと。各回の講義および計3回の事例研究発表については都度指示する。

各回の予習・復習には計4時間相当かかると想定され、詳細については講義時に指示する。

<教科書及び教材>

「サービスマネジメント入門 第3版～ものづくりから価値づくりの視点へ～」近藤隆雄著 生産性出版

<参考書>

講義内で随時紹介する。

<成績評価方法>

授業への参加貢献度、事例研究発表、期末プレゼンテーションを3:3:4の比率にて総合評価する。

欠席6回以上は成績評価しない。

<課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法>

事例研究発表ならびに期末プレゼンテーションは、各講義中に全体のフィードバックを行う。

<履修条件>

特になし

<ディプロマポリシーとの関連>

アントレプレナーシップ発揮に必要な専門的かつ実践的知識の学修に該当

<録画映像の視聴> 可

<オフィスアワー>

非常勤のため随時 e-mail にて連絡すること。

<その他>

期末プレゼンテーション等にそなえて日々経済記事をチェックするように心がけること。